

# 観光編 ポケットみかさ

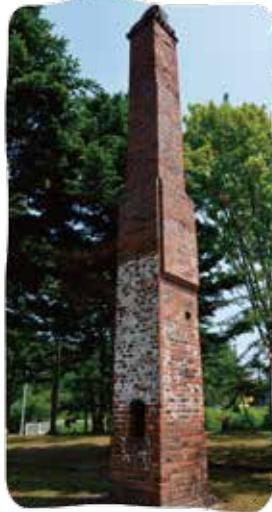
見る 泊まる 遊ぶ 三笠ジオパーク

三笠を見て遊んで楽しむ

三笠市街地

観光編

見る 三笠ジオパーク



## ①旧空知集治監典獄官舎レンガ煙突 刑務所長が起居した家

【住所】本郷町705-23

明治15(1882)年に設置された空知集治監の典獄官舎の跡地です。現在は、明治23(1890)年に囚人たちによって官舎が改築された時のレンガ煙突のみが残っています。当時、集治監を訪れた明治の要人たちのほとんどがこの官舎に宿泊したとされています。

空知集治監とは?

明治15(1882)年～明治34(1901)年の間、三笠に設置されていた刑務所です。収容されていた囚人は炭鉱など開拓のための労働力として使役されました。初代典獄(刑務所長)渡辺惟精(1845 - 1900)は刑務所長のほかにも、市来知村戸長、警察署長、幌内坑業所長、炭礦鉄道事務所長も兼任し、道路、水道、学校、橋、病院などを次々と建設しました。

見る 三笠ジオパーク

## ②三笠山

三笠の名の原点

【住所】本郷町483

明治15(1882)年に空知集治監が設置された際、この山のかたちが奈良の三笠山(現在の若草山)に似ていることから、「三笠山」と呼ばれるようになりました。春には、隠れた桜の名所となります。



見る 三笠ジオパーク

## ③千人塚史跡公園

囚人たちが眠る場所

【住所】柏町432-2

空知集治監の囚人たちの墓がある史跡公園です。囚人たちは一人一墓に入れられていましたが、明治25(1892)年まで死亡した965人分の遺骨を集めて、明治29(1896)年に「合葬之墓」が設置され、この頃から千人塚と呼ばれるようになりました。



超おすすめ!

見る 三笠ジオパーク

## ④北海盆踊り櫓

日本随一の櫓

【住所】幸町1(中央公園内)

北海道の盆踊りでよく歌われる「北海盆唄」は三笠の幾春別地区が発祥の地として知られています。現在の中央公園にある櫓は、昭和26(1951)年頃にあった高さ約8m、3階建ての櫓を再現したものです。毎年8月14日、15日にこの櫓を囲んで三笠北海盆おどりを開催します。

泊まる

## ⑤民宿アンモナイト

【住所】幸町6-8

【電話】01267-2-5252

※日帰り入浴なし

